

# 同志社大学

## 2010年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2011年 3月 10日提出

所 属	職 名	氏 名
グローバル・スタディーズ研究科	教授	岡野八代
研 究 題 目	フェミニズム理論におけるリベラリズム批判	
研 究 成 果 の 概 要	<p>以上の研究課題に対して、以下のような成果を公表した。</p> <p>単著</p> <p>①編著書 『自由への問い 7 家族——新しい「親密圏」を求めて』（岩波書店、2010年6月）総222頁。（加藤秀一との対論「新しい「親密圏」を求めて」：1-28、単独論文「消極的・積極的自由論の手前で」：29-59）。</p> <p>②「近代政治哲学とフェミニズム——その乖離の先にあるモノからの照射——」竹村和子・義江明子編『ジェンダー史叢書 3 思想と文化』（明石書店、2010年7月）：78-101.</p> <p>③「家族の新しい可能性へ——国家からの家族の解放はどこまで可能なのか？」『ジェンダーと法』No.7（2010年）：51-64.</p> <p>④編著書『政治の発見 1 生きる——間ではぐまれる生』（風行社、2010年11月）総197頁。（序文「政治的に「生きる」——能動と受動のあいだで」：1-19、単独論文「つながる・つなぐ——複数の、具体的な個人の間、偶発的な集まりからの政治」：21-57.）</p> <p>⑤「フェミニズムと人権」市野川容孝編『人権の再定位 1 人権の再問』（法律文化社、2011年、1月）：115-138.</p>	